

岩手県金融経済概況（平成 29 年 7～8 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復基調を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は底堅く推移している。公共投資は高水準で推移する一方、住宅投資は高水準ながらも減少している。設備投資は増加傾向を維持している。

生産は、緩やかに持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状況が続いているが、雇用者所得は前年を下回っている。

消費者物価（除く生鮮食品）は、7 ヶ月連続で前年を上回った。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（全店舗ベース；平成 29 年 7 月）は、衣料品の不調を主因に 2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 Δ 2.0%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 29 年 7 月）は、3 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+2.2%）。

新車登録・届出台数（乗用車〈含む軽〉；平成 29 年 8 月）は、12 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+5.9%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 29 年 8 月）は、4 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+61.7%）。

新設住宅着工戸数（平成 29 年 7 月）は、3 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 Δ 3.2%）。

—— 分譲が 2 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+50.0%）ものの、持家（同△5.1%）と貸家（同△6.8%）がともに 3 ヶ月連続で前年を下回った。

民間設備投資（短観ベース；平成 28 年度実績、29 年度計画）は、28 年度は前年を上回った（前年比+5.2%）ほか、29 年度も前年を 1 割方上回る計画（同+11.2%）となっている。

—— 平成 28 年度（実績）は、製造業は前年を下回ったものの、非製造業で店舗改装、新規出店等がみられ、全産業では前年を上回った。

—— 平成 29 年度（計画）は、製造業で、維持更新投資や能力増強投資が、非製造業でも設備更新投資等がみられ、全産業で、前年を上回る計画。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 29 年 7 月）は、4 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△3.9%）。

3. 生産動向

生産は、緩やかに持ち直している。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 29 年 6 月）は、2 ヶ月振りに前月を上回った（前月比+1.3%）。

—— 6 月の動向を主要業種別にみると、輸送機械、化学、電子部品・デバイスが上昇し、生産用機械、食料品、窯業・土石製品が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/10～12 月以降、3 四半期連続で前期比増となっている（28/10～12 月：前期比+1.2%、29/1～3 月：同+2.4%、4～6 月：同+2.7%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状況が続いているが、雇用者所得は前年を下回っている。

有効求人倍率（季節調整値；平成 29 年 7 月）は、1.41 倍と高水準を維持（平成 25 年 5 月以降 51 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成 29 年 7 月）は、前年を上回った（前年比+1.8%；平成 24 年 3 月以降 65 ヶ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成 29 年 6 月）は、常用雇用指数が前年を上回った（前年比+0.4%）ものの、名目賃金指数が 11 ヶ月連続で前年を下回った（同△0.6%）ことから、7 ヶ月連続で前年を下回った（同△0.2%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；平成 29 年 7 月）は、光熱・水道等の上昇等を主因に 7 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+1.0%）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 29 年 8 月）は、9 件、11.3 億円（前年同月；4 件、3.0 億円）と落ち着いた動き。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 29 年 7 月）は、預金は前年を上回る一方、貸出は前年を下回った。また、貸出約定平均金利は、横這い圏内の動きとなっている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>